

水稲



農作業メモ



水稲

吉田 義文
指導販売課
0969-22-1105

○田植え

3月下旬より田植えが始まります。苗は、田植えの5日前位から育苗ハウスのサイドビニールを下げて、外気に充分ならしましょう。(遅霜の場合は注意して下さい。)

①田植えの適期は4月5日から15日です。

②植え付け本数は、坪当たり55～60株程度、1株の苗数は3～5本が標準となります。苗数が多くなると過繁茂の原因となり、倒伏や病害虫が発生しやすくなりますので注意しましょう。田植機の整備・調整は事前に必ず行って下さい。

③植え付けの深さは活着や分けつ等に大きく影響しますので、2～3cmを目安としましょう。

○水管理

暖かい日中は浅水にしますが、活着するまでは朝晩冷え込むことがありますので、新しい根が出るまでは深水にしましょう。活着後は浅水管理で水温・地温の上昇を図り、分けつの促進に努めて下さい。

○病害虫防除

初期では、イネミズゾウムシや葉いもち病が防除の中心となります。田植え前に必ず箱施薬(ブーン・パディート)を散布むらがないように施用しましょう。1箱当たりの散布量は50gとなります。

移植後の活着を促進する為に、活着肥としての硫安(7kg/10a)の散布を行って下さい。

尚、作業省力の為にJAでは「ハイパーCDU」の使用も可能です。この場合は、田植時の箱苗に100gをむらなく散布して下さい。

除草剤(※ボディーガード)は、田植え後5日から15日に散布し、

その後は湛水状態を5日程度保って下さい。水の掛け流しや、土の表面が見えるような場合は、除草の効果が落ちます。尚、本年より第1回目の除草散布で成果が望めない場合は、第2回目の(アトリ)散布も可能と致しました。

浅水状態で土の表面が見える場合は秋起こし時に土の移動を行い均平にしましょう。

箱施薬や除草剤の使用方法是早期水稲耕種基準に記載しています。

※令和2年産早期玄米共同計算結果

12月24日に米共同計算委員会が開催され、以下の表のとおり精算金が決定されましたので、報告致します。

(特裁コシヒカリ円/60kg税込) (一般コシヒカリ円/60kg税込)

	概算金	精算金	農家手取		概算金	精算金	農家手取
1等	13,640	1,593	15,233	1等	13,340	1,117	14,457
2等	13,220	1,605	14,825	2等	12,920	1,129	14,049
3等	12,220	1,636	13,856	3等	11,900	1,160	13,060

(一般キヌヒカリ円/60kg税込)

	概算金	精算金	農家手取
1等	12,560	887	13,447
2等	12,140	900	13,040
3等	11,120	930	12,050



野菜



ナス・トマト栽培



野菜

宮内 勝幸
上島営農指導センター
080-2751-6373

ナス

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	▽	▽	○				

●:種まき ▽:定植 ○:追肥 ■:収穫

《準備》

植付け2週間前に石灰を散布し軽く耕す。植付け一週間前までに畦作りとマルチングを行う。畝幅は120～150cm、株間は60cm、高さは20cm程度を目安とする。

《定植》

遅霜の心配がなくなってから定植する。その後、仮支柱を立てて茎を結束する。

《管理》

生育が進んできたら、本支柱を立てて誘引する。整枝は、主枝3本程度残してしっかり結び誘引する。混み合う枝と老化葉は早めに摘み取る。最初の実がなった頃から追肥を行い、2～3週間間隔で行う。

《収穫》

開花後15～25日程度で収穫できる。不良果や傷果は早めに摘み取る。

《病害虫》

アブラムシ、ヨトウムシ、テントウムシダマシ、うどんこ、灰色かび

トマト

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	▽	▽	○				

●:種まき ▽:定植 ○:追肥 ■:収穫

《準備》

植付け2週間前に、石灰を散布しよく耕します。1週間前までに肥料を施しマルチングを行います。元肥は全面に散布するか、一部を畝下30cmぐらいに埋め込むかして施しましょう。

畝幅は60～100cm程度、高さは20～30cm程度の高畝にしましょう。

《定植》

遅霜の心配がなくなってから行う。苗は、第1果房の1～2花が開花したものを定植する。

《管理》

定植後、130cmぐらいの丈夫な支柱を立てて誘引する。主枝1本にのみ着果させる1本仕立てで育てましょう。脇芽などは早めに全部摘み取りましょう。

おおむね実が5～6段ついたら芯どめを行いましょう。追肥は第1果房が肥大を始める頃から開始しましょう。

《ホルモン処理》

つるぼけ防止の為に、第1花房の着果は必ず成功させたい所です。トマトーンを100～150倍で散布しましょう。

果樹



3月の柑橘園管理



果樹

原口 悠貴
下島営農指導センター
080-2725-7775

1. 家庭選別の徹底（貯蔵中の管理）

1/7～1/11にかけての寒波の影響により一部地域で、す上がり果の症状が確認されています。出荷時には障害果の混入が無いようご注意ください。

また、昼夜の庫内温度差が大きいと果実の結露がみられ、デコボンや清見ではヤケ果が発生しやすくなります。果実の状態を確認し、定期的に換気を行いましょう。

2. 河内晩柑の収穫基準

品種	区分	収穫時期	予措
河内晩柑	適期採取	3/1～3/31	14日(3%)
	後期採取	4/1～4/30	7日(2%)
	後期Pプラス	3月・4月区分採取	
	木成り採取	5月以降	—

※河内晩柑では本格的な収穫期に入ります。収穫前には貯蔵病害の防除を徹底し、収穫に臨みましょう。

3. 病害虫防除

対象病害虫	品種	農薬名	希釈倍数	備考
かいよう病	温州	IC ボルドー66D	60倍	3月中旬(発芽前)
	中晩柑			3月中～下旬(発芽前)
ミカンハダニ	中晩柑	ハーベストオイル	80倍	3月中～下旬(発芽前)

※かいよう病防除はムッシュボルドー（DF）500倍も使用可。

※温州ミカンで12月にハーベストオイルを散布していない園では、発芽前に80倍で散布。

4. 施肥

栽培タイプ	肥料名	品種名	施肥時期	10a当たり
通常タイプ	熊本果樹肥料10-7-4 又は ひのくに果樹9-3-3	極早生温州	3月上旬	4袋
		ボンカン	3月上旬	5袋
		清見・河内晩柑・甘夏・パール柑	3月上旬	4袋
	熊本デコボン8-3-3	デコボン	3月上旬	3袋
省カタイプ	アグリロング28号	河内晩柑・清見・甘夏・パール柑	3月上旬	5袋
		デコボン		5袋

5. 樹勢回復・着花対策

収穫が終わりましたら、樹勢回復目的の葉面散布を3回程度行って下さい。

その後、花が少ないと予想される園では花芽分化促進目的の葉面散布を3回程度行って下さい。

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
樹勢回復	尿素又は アミノジューシーN14 又は神協スピリッツ	500倍	収穫後3回程度 集中散布
花芽分化 促進	ファーマメント又は ジューシーエース	500倍	樹勢回復後3回 程度散布



令和2年度 天草地域中晩柑果実品評会 受賞者発表！

令和3年2月18日に、令和2年度天草地域中晩柑果実品評会が開催されました。この大会は、天草活性化協議会果樹部会と熊本県果樹技術者連盟天草支部が主催し、天草地区3JAやJA熊本果実連をはじめ7団体が協賛しています。今回はデコボン、あまくさ晩柑など85点が出品されました。

審査の結果、JAあまくさ管内からは5点が金賞・8点が銀賞を獲得されました。受賞された皆さん、おめでとうございます！



賞	お名前	地区	出品物
金賞	後藤 實	有明町	露地デコボン
金賞	西川 美鶴	有明町	あまくさ晩柑
金賞	今福 芳子	有明町	露地デコボン
金賞	西川 美鶴	有明町	露地デコボン
金賞	笹原 薫	有明町	清見
銀賞	柴田むつ子	有明町	施設デコボン
銀賞	有田 一人	河浦町	施設デコボン
銀賞	福永 秋雄	有明町	露地デコボン
銀賞	笹原 薫	有明町	露地デコボン
銀賞	西橋喜美代	有明町	露地デコボン
銀賞	渡辺 吉雄	有明町	あまくさ晩柑
銀賞	野方 昌則	新和町	あまくさ晩柑
銀賞	松崎千加子	有明町	甘夏